

## 「モスをかこむ人」ステークホルダーの皆さまに向けた具体的な活動を紹介 『モスのコミュニケーションレポート 2013』 発刊

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長：櫻田 厚、本社：東京都品川区）では、このたび『モスのコミュニケーションレポート 2013』を発行します。2004年6月に本レポートの前身である『環境報告書』の第1号を発行し、以後、幅広いステークホルダーとのコミュニケーションツールと位置づけて発行を続け、今年で10号目となります。

今回のレポートではステークホルダーを「モスをかこむ人」として表現し、それぞれのステークホルダーへ向けた取り組みについて事例を交えて掲載しています。また、人間貢献・社会貢献の実現に向けて創業からの想いや取り組みを20のキーワードにまとめ、全34ページにわたり紹介しています。

### 「モスのコミュニケーションレポート 2013」の概略

#### <「モスをかこむ人」ステークホルダーの皆さまに向けた働きかけ>

モスをかこむ「お客さま」「お取引先」「未来」「地域社会」「グローバル」それぞれへの働きかけや事例を挙げ、「お客さま」ではモスの店舗に込められたスタッフの想い、「お取引先」では協力農家との関係づくり、「未来」では子供たちへの食育プログラム、「地域社会」では地域の方の声を直接お聞きするモスバーガータウンミーティング、「グローバル」では各国・地域の店舗での特徴的なサービスについて紹介しています。

#### <おいしいを届けるための「モス 20 の約束」>

当社が創業当時より大切にしてきた想い、お客さまへの活動や人間貢献・社会貢献を実現するための取り組みを20のキーワードにまとめ、「おいしさ、安全、健康」の追求や、おもてなしの店づくり、地域・社会貢献活動や環境活動、コーポレート・ガバナンスについて紹介しています。

#### <数字で見るモス>

2012年度の当社の実績や進捗を、ステークホルダーごとにまとめ、各部門や子会社単位での2012年度の環境目標の達成度や、店舗・本社・事務所でエネルギー使用量などを数値やデータで示しています。

モスフードサービスでは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「おいしさ、安全、健康」という考え方を大切にきた商品を「真心と笑顔のサービス」とともに提供することに一貫して取り組んでいます。『モスのコミュニケーションレポート』はこうしたモスグループの理念に沿って行ってきたさまざまなステークホルダーとの活動について紹介しています。本レポートの発刊により、グループ内部のみならず店舗に関わるすべての方々に、さらなるコミュニケーションの輪が広がっていくことを目指しています。

※「モスのコミュニケーションレポート 2013」は、当社ホームページからご覧いただけます。  
モスバーガーホームページ <http://www.mos.co.jp>

#### <この件に関する問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報 IR グループ TEL. 03-5487-7371 FAX. 03-5487-7389  
〒141-6004 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower 4F  
<http://www.mos.co.jp> E-mail. [pr@mos.co.jp](mailto:pr@mos.co.jp)

(参考) モスグループのおもな環境およびCSR活動

1972年 (創業)	・ホットドリンクを陶器のカップで提供(イートインの場合)。ハンバーガー類の包装には発泡スチロールではなく、薄い袋状の紙(内袋)を使用
1990年	・東京・国立店をリサイクル推進店舗として位置付け、ガラスの食器や金属のスプーンなどを使用。全店では、持ち帰り用の紙袋を再生紙に切り替え
1995年	・全店でガラスの食器の導入を推進
1996年	・ホームページ開設と同時に、栄養成分情報を開示
1997年	・配送システムを、業界初の試みである三温度帯一括配送に切り替え ・「モスの生野菜」を全店導入(新価値宣言)
1999年	・ホットドッグのパッケージをプラスチック容器から紙容器に変更
2000年	・本社内に「環境推進グループ(現:社会環境グループ)」を設置
2001年	・トレーをメラミン製からペットボトルのリサイクル製に変更 ・ホームページで商品のアレルギー情報を開示
2003年	・食材の生産・製造・流通過程の詳細情報をホームページ上で開示 ・「CSR推進室」を設置し、全社的なCSR推進活動を強化 ・チェーン従業員の為の内部告発者支援窓口(現:モスヘルプライン)を開設
2004年	・株式会社モスフードサービスおよびモスバーガーチェーンにおいてISO14001認証を取得 ・「環境報告書(現:コミュニケーションレポート)」を発刊 ・倉庫廃棄物の一括再資源化を本格開始 ・モスライスバーガーの内袋を発泡ポリエチレンからパルプ系繊維を使用したものに変更
2005年	・シンガポール法人のモスフーズシンガポール社でISO14001認証を取得 ・「グリーン調達ガイドライン(基本原則)」「中期環境行動計画」をホームページ上に公開 ・モスの店舗スタッフが近隣の小学校へ出向き出張授業を行う「モスの食育プログラム」を本格的に開始 ・「こども110番の店」への登録推進開始
2006年	・お持ち帰り用ポリ袋に代わり、紙バッグを導入 ・お持ち帰り用透明アイスカップをバイオマスプラスチック容器に変更 ・キッザニア東京に「ハンバーガーショップ」パビリオン出展 ・森の町内会「間伐に寄与する紙」の使用を開始
2007年	・環境省の「1人、1日、1kg CO <sub>2</sub> 削減」応援キャンペーンに参加 ・魔術食品工業(台湾)が「ISO22000」および「HACCP」取得
2008年	・ISO14001認証取得範囲を国内連結子会社と関連店舗まで拡大 ・農林水産省が立ち上げたFOOD ACTION NIPPONに協賛 ・「災害時帰宅困難者支援に関する協定」の登録店舗を拡大
2009年	・「とびきりハンバーグサンド」がFOOD ACTION NIPPON アワード 2009 プロダクト部門で優秀賞を受賞 ・「とびきりハンバーグサンド」がグリーン購入大賞食品部門で審査員特別賞を受賞
2010年	・「Out of KidZania モスフードサービス 農業体験」を開始 ・「ナンパッケージ」が2010日本パッケージングコンテスト適正包装賞を受賞
2011年	・お客さまと社長との直接対話「モスバーガータウンミーティング」を開始 ・「自由が丘 あえんおそうざい」のお弁当がFOOD ACTION NIPPON アワード 2011の「食べて応援しよう!賞」を受賞
2012年	・グリーン電力を購入し、事業方針説明会、株主総会などの会場での使用を開始 ・国内外食チェーンとして初めてISO22000認証を取得
2013年	・モスバーガー店舗にLED照明を採用した看板を導入(2年間をかけて全店導入予定)